

# 企画部市民自治推進課

## 1 自治基本条例策定事業

### (1) 米子市民自治基本条例案の作成

まちづくりの主体である市民が、市民同士、また行政や議会とともに役割と責任を分担し、手を携えてより良いまちづくりを進めるための基本的な考えを定める自治基本条例の条例案を作成し、平成24年3月議会に上程した（当該議会で可決・成立）。

ア 条例の原案の作成（平成22年5月）～平成23年8月

#### イ パブリックコメントの実施

条例原案の内容等を公表し、広く市民からの意見を求めるために、平成23年10月1日から11月18日までの間（49日間）パブリックコメントを実施した。

・意見者 延べ64人

・意見数 110件

ウ 条例案の作成 平成23年11月～平成24年2月

パブリックコメントで得た意見等を参考にしながら、条例原案を一部修正した条例案を作成した。

## 2 米子市まちづくり活動支援交付金事業

市内で活動する団体が、地域課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、創意工夫して行う自主的・継続的な活動を支援するため、公募型の交付金制度により交付金を交付した。

本年度も、交付対象事業の規模等に合わせて、「ちょっこし活動コース」と「がいな活動コース」の2つのコースを設けた。6団体から応募があり、外部委員からなる選考委員会においてプレゼンテーションによる選考の結果、4団体の事業に交付金を交付した。

### (1) 交付金額

ア 交付対象事業経費全額（上限8万円）

イ 交付対象事業経費の3分の2以内（上限30万円）

### (2) 交付対象事業

ア ちょっこし活動コース

団体名	対象事業	交付金（千円）
法勝寺町商店会	ほっしょうじ通りだんだん傘プロジェクト事業	80
アロマケアステーション	アロマセラピー教室&音楽療法事業	80
小計		160

イ がいな活動コース

団体名	対象事業名	交付金（千円）
祇園町2丁目自治会	愛宕山に登山道を復活させよう会事業	148
山陰古代史研究会設立準備委員会	古代史(邪馬台国)サミット 「古代史論争 邪馬台国山陰説」事業	271
小計		419
合計		579

### 3 ふるさと納税

(1) 次のとおりふるさと納税寄附があった。

ア 寄附者 2,761人(使途別では、2,788件)

イ 寄附金額 38,944,952円

ウ 使途別の寄附金額集計

使 途	件 数	(%)	寄附金額	(%)
輝く子ども	629	22.6	8,825,150	22.7
中海再生	426	15.3	5,453,601	14.0
地域の力	220	7.9	3,687,000	9.5
歴史・文化	269	9.6	4,084,000	10.5
がいな米子	1,244	44.6	16,895,201	43.3
合計	2,788	100.0	38,944,952	100.0

エ 地域別の寄附金額集計

地 域	人 数	(%)	寄附金額	(%)
東京都	696	25.2	9,995,002	25.7
その他関東	737	26.7	10,517,350	27.0
大阪府	283	10.2	4,009,000	10.3
その他関西	326	11.8	4,456,000	11.4
中部	258	9.3	3,316,000	8.5
北海道東北	92	3.3	1,284,000	3.3
九州	123	4.5	1,658,000	4.3
中国四国	164	5.9	2,136,000	5.5
鳥取県内	25	0.9	428,000	1.1
米子市内	57	2.1	1,145,000	2.9
合計	2,761	100.0	38,944,952	100.0

(2) ふるさと納税促進・地元特産品等広告宣伝タイアップ事業の実施

平成21年度から実施している「ふるさと納税推進」と「地元特産品等広告宣伝」とのタイアップ事業を、内容をさらに充実して実施した。

ア 米子市民体験パック(無償提供記念品…3,000円以上の寄附者全員に贈呈)

11社13品

イ がいなええもん(タイアップ記念品…無償提供記念品に加えて1万円以上の寄附者に1品贈呈・3万円以上の場合は2品贈呈)

39社51品

※本年度から、米子市ホームページに申込み専用サイトを設けるとともに、同サイトでクレジット決済ができるようにし、寄附者の利便性の向上と事務処理の簡素化を図った。

#### 4 地縁団体認可状況

申請に基づき、次のとおり地縁団体の認可を行った。

自治会名	認可年月日
東町自治会	平成23年4月27日
上安曇自治会	平成23年6月13日
小市場自治会	平成23年9月1日
奥谷自治会	平成23年11月25日
サンライズ蚊屋自治会	平成24年1月30日
下郷自治会	平成24年2月27日
福市一区自治会	平成24年2月28日
諏訪五区自治会	平成24年3月7日
諏訪三区自治会	平成24年3月7日

平成24年3月31日現在の認可地縁団体の総数は、74団体である。

#### 5 コミュニティ施設等整備

コミュニティ施設の整備事業を行った自治会に対して補助を行った。

米子市コミュニティ施設整備費補助金	8件	6,210,326円
自治総合センター宝くじ助成事業	2件	15,400,000円

#### 6 ふるさとの歴史保存継承事業

歴史あるふるさとを愛する心を育て、ふるさとづくりを推進することを目的に、市内各地域の歴史を保存し、継承する事業に対して補助を行った。

住吉歴史・文化伝承出版物作成実行委員会「ふるさと住吉のあゆみ」発行事業	500,000円
福米西地区記念誌作成実行委員会「福米西三十年の変遷」発行事業	500,000円

#### 7 米子市自治連合会への協力・支援

活動内容

##### (1) 定例総会

平成23年5月14日 米子市文化ホールで開催した。新役員は、次のとおり。

会長	杵築 俊朗 (義方)
副会長	富士原寿和 (車尾)
〃	梅林 良一 (河崎)
〃	田邊 忠雄 (和田)
〃	藤井 那庶 (永江)
会計	田邊 忠雄 (和田)
監事	上橋 晃治 (就将)
〃	松岡 勉 (加茂)

##### (2) 会議

正副会長会	15回
常任委員会	8回

##### (3) 常任委員研修視察

平成24年1月20日、自治会加入促進の取り組みについてをテーマに、香川県高松市コミュニティ

協議会連合会を視察した。常任委員を主とする各地区自治連代表等 19 名が参加し、取り組みの経過、情報交換を行った。

(4) 鳥取県自治会連合会総会

平成 23 年 7 月 11 日に米子市で開催され、正副会長が出席した。

(5) 自治会運営の手引き改訂版の編集発行

自治会の運営等に係る諸問題を解決し、もって自治会運営の円滑化を図ることを目的に、常任委員会に自治会運営の手引き編集委員会を設置し、改訂版を編集発行した。

8 自治会役員の永年勤続表彰

自治会の永年勤続役員（会長・副会長・会計・監事等）135 人に対し、平成 24 年 3 月に感謝状と記念品を贈った。

9 市民総合災害補償制度関係

市が主催する行事又は社会奉仕活動等に参加した者が、その参加中において身体に傷害を被った場合に、被災者に対し米子市民総合災害補償金を支給した。

(1) 傷害事故の発生状況（事故報告書提出分）

区 分		主 な 活 動	件 数
市が主催	社会体育活動	運動会、スポーツ大会等	30
	社会教育・生涯学習活動	学習会、公民館祭等	
	社会福祉活動	保健相談、指導会等	
	住民が参加する行事	清掃活動等	1
市が依頼した社会奉仕活動		清掃活動等	
計			31

(2) 補償金及び見舞金の支給状況

区 分		市民総合災害補償金				市民活動等傷害見舞金	
		死亡給付金		入院・通院補償給付金		件数	金額（円）
		件数	金額（円）	件数	金額（円）		
市が主催	社会体育活動			30	2,175,000		
	社会教育・生涯学習活動						
	社会福祉活動						
	住民が参加する行事			1	180,000		
市が依頼した社会奉仕活動							
計				31	2,355,000		

10 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

ア 米子市・保定市友好都市提結 20 周年記念事業

平成 23 年 1 月 13 日から 16 日までの間、保定市から崔啓慧（サイ・ケイ・ケイ）中国人民政治協商会議保定市委員会主席を団長とする代表団（5 人）を招き、記念式典および友好交流の写真展を開

催するとともに、今後の交流について協議を行った。

記念式典：平成23年11月14日

写真展：平成23年11月10日～15日

イ 中国人技能実習生の受入れ

平成23年11月、協同組合和田浜工業団地が保定市から中国人技能実習生6人を受入れた。これに伴い、中国国際交流員が実習生に対し、日本で生活習慣等についての講習を行った。(この受入れは平成14年度から継続して実施)

(2) 姉妹都市韓国束草市

ア 米子市、束草市それぞれ相互に短期行政研修職員を派遣し、互いに行政施策についての研修を実施した。

(ア) 米子市派遣研修

派遣期間：平成23年11月6日～11日(6日間)

研修場所：束草市企画監査室国際交流係

派遣職員及び研修テーマ：矢倉 香澄 男女共同参画の取り組みについて日韓の比較

太田 良子 束草市との道路管理業務の違い、同年代職員との交流

(イ) 束草市派遣研修

受入期間：平成23年11月6日～11日(6日間)

研修場所：米子市市民自治推進課国際交流室

受入職員：李 燉 炯(イ・ドンヒョン)、咸 英 熙(ハム・ヨンヒ)

研修テーマ：・米子市の現況について

・土地管理及び取引過程における先進化について

・河川生態系復元政策及び河川管理・処理方策について

イ 束草市への経済交流団の派遣

平成22年に行われた米子市・束草市姉妹都市提携15周年記念事業の一環として、平成23年10月21日～24日、束草市で開催された「雪嶽(ソラク)文化祭」に合わせて、米子市から特産品出品事業として経済交流団(5人)を派遣した。束草市内の塩辛祭会場で、米子市特産品などの試食・販売を行ったもの。

ウ 米子市束草市民間交流促進

両市の交流を市民レベルに拡大し定着させていくため、民間グループの交流について連絡調整等の支援を行い、交流の発展に寄与した。

(ア) 鳥取県西部地区日韓親善協会、束草市米子市姉妹委員会、姉妹提携10周年事業

鳥取県西部地区日韓親善協会と交流している束草市の民間団体、束草市米子市姉妹委員会と姉妹提携を結んでから10周年を迎え、束草市で記念式典が開催された。この交流記念事業として、米子市長をはじめ邦楽団・煎茶道小笠原流山陰総支部・劇団ゆめ・A J サッカースクール・米子市バドミントン協会・ホームステイを行う大人と青少年による交流団を結成し、訪韓した。

期間：平成23年7月26日～29日

会場：束草市文化会館ほか

参加者：110名

(イ) 淀江さんこ節保存会伝統芸能交流

束草市を代表する祭「雪嶽文化祭」に淀江さんこ節保存会が、蔡龍生(チェ・ヨンセン)束草市長に招待され訪韓し、束草市民に米子市の伝統芸能を披露して交流を深めた。その際、米子市から職員1名、通訳1名が同行し、円滑な交流に努めた。

期間：平成23年10月21日～25日

会場：束草市役所大会議室ほか

参加者：34人

(3) 韓国江原道高城郡との姉妹都市提携解消

米子市（旧淀江町）は平成8年10月29日から高城郡と交流協定を締結し姉妹都市関係にあった。平成17年3月31日に旧米子市と旧淀江町が合併した後、交流が途絶えがちになり、平成23年10月24日に高城郡側から韓国行政の慣習として、近隣都市（東草市・高城郡）で同一都市（新米子市）と姉妹都市提携を継続することは困難との申出があり、平成24年1月12日に姉妹都市提携解消を相互に確認した。

(4) 環日本海諸国との交流

ア 環日本海拠点都市会議の開催

第17回環日本海拠点都市会議が鳥取県鳥取市で開催され、市長他が参加し、参加都市代表者と環日本海地域の一体的な発展方策について協議した。

会議テーマ：環日本海地域における経済交流の新たな飛躍

【議題1】都市の現況とこれまでの国際交流・経済交流への取り組みについて

【議題2】今後積極的に推進する事項について

開催期間：平成23年8月24日～26日

開催日：平成23年8月25日（首長会議）

開催市：鳥取県鳥取市

参加都市：日本 / 米子市、境港市、鳥取市

韓国 / 東草市、浦項市、東海市

中国 / 図們市

イ 韓国江原道平昌（ピョンチャン）の冬季五輪開催決定に対する親書

2018年の冬季オリンピックの開催が、韓国江原道平昌郡に決定したことに対し、平成23年7月、江原道知事へお祝いの親書を送った。

(5) 国際交流員の雇用

JETプログラムによる国際交流員を雇用し、海外との連絡調整、翻訳、通訳等の業務を通じて、友好姉妹都市交流事業の円滑化を図った。また市内公民館、小中学校などでの国際理解講座や市民を対象とした中国語講座、韓国語講座を開催し、更には「おでかけ交流員出張サービス」を実施するなど市民の国際意識の高揚を図った。

・国際交流員（中国担当）：張 燕（チャン・イェン）

・国際交流員（韓国担当）：李 美 英（イ・ミヨン）

(6) 友好都市児童画作品展

ア 国際児童美術交流展

期間：平成23年6月11日～15日

会場：東草市文化会館

米子市をはじめとする東草市国内外友好都市の児童画作品展が開催された。

イ 国際児童絵画展

期間：平成24年2月4日～16日

会場：米子市児童文化センター

米子市児童美術作品展に併せて、米子市の友好・姉妹都市、中国・保定市、韓国・東草市の児童絵画を展示した。

(7) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

来庁、電話等で寄せられる市内在住外国人の日常生活、言葉等に関する問題や一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際交流員による市民向け語学講座の開催（会場は米子市役所会議室）

(ア) 中国語講座

- ・中国語入門講座 15回シリーズ（昼の部／夜の部）  
※ 平成23年4月12日～8月9日
- ・中国語初級会話講座 12回シリーズ（昼の部／夜の部）  
※ 平成23年11月10日～平成24年3月15日

(イ) 韓国語講座

- ・韓国語入門講座 15回シリーズ（昼の部／夜の部）  
※ 平成23年4月14日～8月11日
- ・はじめての韓国旅行会話講座 12回シリーズ（昼の部／夜の部）  
※ 平成23年11月15日～平成24年2月28日

ウ 国際理解講座の開催

- (ア) 市内の小学生（3年～6年）を対象に、中国・韓国の文化や料理を紹介する「国際理解講座（わくわくアジア体験くらぶ）」を開催し、小学生の国際意識の啓発に寄与した。

期間：平成23年7月21日～8月5日の間に計5回

会場：児童文化センター及び明道公民館 参加者：16人

- (イ) 市内の中国に興味がある方を対象に、中国の文化、習慣や中国人の気質、中国人との付き合い方などを紹介する「中国に親しむ講座」を開催し、中国に対する理解と親しみを深めた。

期間：平成23年9月2日～29日の間に計5回

会場：米子市役所会議室 参加者：16人

- (ウ) 市内の中・高校生を対象に、韓国語の基礎を学習し、K-POPを歌ったり、伝統衣装の「韓服」を着たり、ドラマにも出ない現代韓国の秘密などを楽しく学ぶ「ときめき韓国講座」を開催し、中・高校生の韓国への親しみを深めた。

期間：平成23年8月2日～18日

会場：米子市役所会議室 参加者：17人

エ ペラっとハングルスピーチコンテストの開催

鳥取県西部地区の住民を対象に韓国・朝鮮語のスピーチコンテストを開催し、日ごろの学習の成果を競いながら情報交換し、交流を図った。

開催日：平成24年3月4日

会場：米子市ふれあいの里大会議室 発表者：16人（来場者約180人）

オ 民間交流支援

- (ア) ミャンマー高僧の市長表敬訪問

平成23年5月13日、東日本大震災の慰問を終えたミャンマーの僧侶8人が米子市を訪問、米子市長を表敬し、情報交換を行いながら交流を深めた。

- (イ) 韓国・南ソウル大学校（忠清南道）の市長表敬訪問

平成23年7月8日、鳥取大学の受入れにより、韓国・忠清南道にある南ソウル大学校の学生ほか24人が米子市長を表敬訪問し、日本海海岸沿いを自転車で移動しながら海洋ゴミ回収活動を行い、意見交換を行ないながら交流を深めた。

- (ウ) 朴保（ぱくぼー）歌手の市長表敬訪問

平成23年8月2日、SIFN山陰国際交流連絡会の受入れにより、ソロ・シンガーの朴保さんが市長を表敬し、意見交換を行いながら交流を深めた。

- (エ) 韓国・江原道洪川（ホンチョン）情報科学高等学校の修学旅行受入れ

韓国・江原道から初めての受入れになる高等学校の修学旅行団として、DBSクルーズフェリー往復による洪川情報科学高等学校の受入れ準備、連絡調整等の支援を行った。

期間：平成23年10月14日～15日

交流先：専門学校米子ビューティーカレッジ、米子医療センター附属看護学校

人数：学生162人、教師13人、写真記者1人、ガイド5人、旅行会社社長1人

(オ) ブラジル中堅リーダー交流事業における市長表敬訪問

平成23年10月20日、鳥取県の受入れにより、ブラジル中堅リーダー交流事業として県内を視察する2人の中堅リーダーおよびブラジル県費研修生が、市長を表敬し意見交換を行いながら交流を深めた。

(カ) 東草高城襄陽環境運動連合会の交流受入れ

平成24年1月27日、米子市の生態文化の探訪交流に米子水鳥公園を訪問した、東草高城襄陽環境運動連合会の会員10人と、野鳥の会鳥取県支部・米子水鳥公園友の会のメンバーとの視察、意見交換等の支援を行った。

(8) インバウンド対策

東日本大震災に伴う福島原子力発電所事故についての間違った風評により、韓国からの観光客が激減し、米子～ソウル便およびDBSクルーズフェリーの安定運航に支障をきたしたことから、市長が鳥取県西部地区日韓親善協会会長とともに韓国の最大手旅行会社を訪問し、山陰へのインバウンドの申入れのうえ協力を求めた。

日程：平成23年7月28日

場所：ソウル (株) ハナツアー社本社